

会 員 各 位

日 本 ば ね 学 会

会 長 中 曾 根 祐 司

**「復元力応用分科会」第 24 回講演会開催のご案内**

「復元力応用分科会」では、広い意味でのばねの役割の知見を深めることを目的として、復元力の応用分野の講演会を企画してきました。今回も第 24 回講演会を下記のとおり開催いたします。

会員どなたでも無料でご参加いただけますので、是非ご検討下さい。

参加希望者は 10 月 16 日までに日本ばね学会事務局まで FAX かメールでお申込み下さい。

## 記

1. 開催日時 2017 年 10 月 27 日 (金) 13:00~17:00
2. 開催場所 ウィンクあいち 11 階 1109 会議室  
住所 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38 (JR 名古屋駅徒歩 5 分)  
電話 052-571-6131 <http://www.winc-aichi.jp/access/>

## 3. スケジュール

13:00~13:05 開会挨拶 復元力応用分科会 主査 小竹 茂夫

13:05~14:05 楽器用材としての木材の力学的性質と国産材エレキギターの可能性

京都大学大学院 村田 功二 殿

(内容) 木材の組織構造と力学的性質との関係、および楽器用材に関連する因子を検討する。さらに近年希少樹種の入手が難しくなり代替材が模索されているエレキギター材料として国産材活用の可能性を考える。

14:05~14:15 休憩

14:15~15:15 輸送振動の低減を目指した紙製ばね

東京都立産業技術研究センター 岩田 雄介 殿

(内容) 輸送中の振動は、輸送品の擦れ、傷みなどの要因となり、商品価値の低下に関わる問題となる。輸送振動への対策として、安価で使用後の処理が容易な『紙製ばね』を提案し、振動低減効果について検討を行った。

15:15~15:25 休憩

15:25~16:55 機械式時計の等時性とその理論

時計理論サロン 小牧 昭一郎 殿、笹谷 卓史 殿

(内容) 機械式時計にはその調速機系(テンプとヒゲゼンマイ)の中にバネ;ヒゲゼンマイが使われており、その復元力の精度が  $10^{-6}$  レベルまで要求される。これを達成するためにいかにヒゲゼンマイを正しく伸縮させるか、が課題であった。その歴史は 100 年などと大変長く、そのような要求をいかに達成してきたか、講演ではまた、これからの展望など、探してみたい。

16:55~17:00 閉会挨拶 復元力応用分科会 幹事 原田 浩

4. 参加費 無料 (会員外は 5,000 円)

日本ばね学会 宛

E-mail: jsse@spring.or.jp

FAX (03) 3251-5258

**「復元力応用分科会」第 24 回講演会 参加申込書**

参加者氏名	会社名	所属・役職	連絡先
			TEL FAX E-Mail